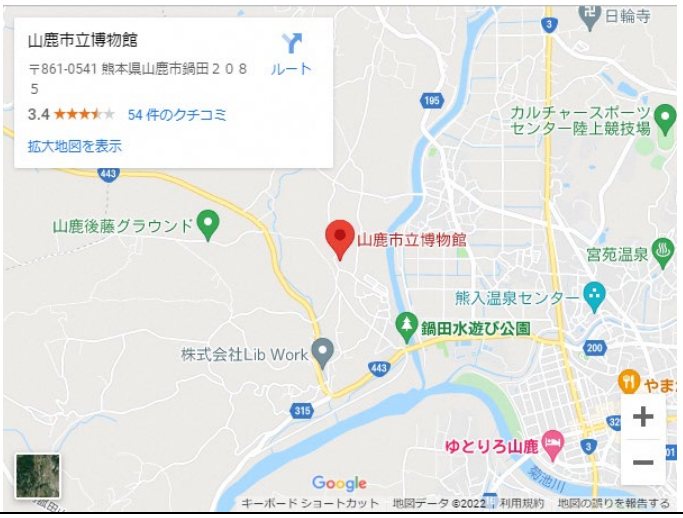
見学お役立ちシート

名称	**山鹿市立博物館**
住所	〒861-0541 熊本県山鹿市鍋田2085
電話番号	0968-43-1145
地図URL	https://goo.gl/maps/NTcWNnNjTaA5534n8 
営業時間 見学所要時間 （目安）	【山鹿市立博物館】9:30～17:15（入館は16:45まで）9:00～17:00（入館は16:30まで） 所要時間：常設展20分、企画展20分程度　※時間は目安です オブサン古墳までの距離600m（ボランティアガイドは事前予約が必要です。）
料金	一般・大学生270円／高校生以下70円（山鹿市内の小中学生は無料） 団体（15名様以上）一般・大学生210円／高校生以下50円
駐車場・トイレ	駐車場あり トイレあり
時代	原始（弥生・古墳）、歴史、民俗など
参考URL	https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1264127825069/
出典	山鹿市立博物館パンフレット 『山鹿市』（https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1264127825069/）
	・山鹿市立博物館は、昭和53年に県内で2番目に開館した博物館です。 菊池川流域の考古・歴史・民族資料を中心に約3000点を収蔵・展示しています。方保田東原遺跡から出土した全国に唯一の石包丁形鉄器や、30数例しかない巴形銅器など大変貴重な資料がみどころです。 ・巴形銅器は、七つの脚をもつ、不思議な形をしています。この銅器は、南海産のスイジ貝にヒントを得たものともいわれ、古墳時代には盾の飾りとして使われていました。 ・石包丁形鉄器は、昭和59年（1984）大道農協建設に伴う調査によりわが国で初めて出土しました。これまで石包丁から手鎌といった収穫具の変遷が考えられていましたが、この資料によって、石包丁形鉄器の存在が明らかになりました。平成10年（1998）の調査で2例目が出土しました。（国の重要文化財） ・博物館周辺は歴史公園「肥後古代の森」として整備されていて、装飾古墳として有名な史跡チブサン・オブサン古墳まで徒歩15分の「古代への道」が続いています。 ・そのほか江戸時代の民家は、天保11年（1840）に建てられた茅葺民家で、昭和54年に移築したものです。内部には、民族資料の展示もあります。また、全国第2位の規模の用水橋（石橋）である大坪橋は、江戸時代末期に吉田川に架設、河川改修のため博物館の隣接地に移設復原されました。長さ23.2ｍで、県内の用水路としては通潤橋（国指定）に次ぐ規模です。